

いし の ま ま き

No.
44

議会だより

平成27年8月11日発行

第2回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
19人が一般質問で市政を問う	8
特別委員会行政視察レポート	16
平成26年度政務活動費執行状況	17



『湊こども園のみなさん』



条例や補正予算など

39件を可決



◀ 第2回定例会
委員長報告の様子



平成27年第2回定例会は、6月8日から6月24日までの17日間の日程で開催されました。
今定例会では、条例や補正予算など市長提出議案39件が提出されました。
審議の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

第2回定例会に提出された 議案と審議結果

予 算 (原案可決)

- 平成27年度石巻市一般会計補正予算(第3号)
- 平成27年度石巻市土地取得特別会計補正予算(第1号)
- 平成27年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成27年度石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成27年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成27年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成27年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

条例・規則 (原案可決)

- 石巻市市税条例の一部を改正する条例
- 石巻市都市計画税条例の一部を改正する条例
- 石巻市介護保険条例の一部を改正する条例
- 石巻市東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例

そ の 他 (原案可決)

- 指定管理者の指定について
(石巻市復興まちづくり情報交流館中央館)

財産の無償譲渡について
工事委託に関する年度協定の締結について
財産の取得について

- (仮称)石巻市宮水明北一丁目復興住宅
- (仮称)石巻市宮中里六丁目復興住宅
- (仮称)石巻市宮門脇復興住宅
- (石巻市宮新渡波西復興住宅(B地区))
- (石巻市宮新渡波西復興住宅(C地区))
- (石巻市宮間垣復興住宅)
- (石巻市宮泊浜復興住宅)
- 財産の取得の一部変更について
- (仮称)石巻市宮泉町四丁目復興住宅
- (仮称)石巻市宮大街道北二丁目復興住宅
- 工事請負の契約締結について
- (仮称)石巻市庁舎第2駐車場整備工事
- (西浜町津波避難タワー建設工事)
- (23年災谷川漁港海岸保全施設災害復旧工事)
- (23年災給分漁港ほか海岸保全施設災害復旧工事)
- (湊東地区土地区画整理事業上水道管布設工事)
- (新蛇田南地区汚水管渠築造(その2)工事)
- (下釜第一地区土地区画整理事業汚水管渠築造工事)
- (石巻市不動町地区産業用地造成工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (23年災熊沢漁港ほか4漁港災害復旧工事)
- (新蛇田南地区土地区画整理事業調整池築造工事)

字の区域を変更することについて
市道路線の認定・廃止・変更について

人 事

- 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
↓
那須野六男氏・田中憲夫氏・阿部悟氏・浮津由巳氏を選任することに異議なし
- 公平委員会委員を選任するにつき同意を求めることについて
↓
白出征三氏を選任することに同意

第2回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市市税条例の一部を改正する条例

○地方税法等の一部を改正する法律が平成27年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市都市計画税条例の一部を改正する条例

○地方税法等の一部を改正する法律が平成27年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市介護保険条例の一部を改正する条例

○介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令が平成27年4月10日公布・施行されたことに伴い、本条例の一部を改正するもの。

その他の議案から

◆財産の無償譲渡について

○来年3月に供用を開始する予定の「石巻あゆみ野駅」建設に必要な土地を、昨年10月に締結した「仙石線陸前赤井・蛇田間新駅整備事業に関する基本協定」に基づき、東日本旅客鉄道株式会社に無償譲渡することについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定により議決を求めるもの。

可決された補正予算のおもな中身は

今回の補正予算は、社会資本整備総合交付金事業として採択された釜大街道線街路整備事業に要する経費及び総合運動公園整備事業に要する経費をはじめ、防災集団移転促進事業に要する経費、低平地整備事業に要する経費、金華山休憩所の災害復旧に要する経費などを措置したもの。併せて、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の給付に要する経費を措置したもの。

◆総務費では

- ・ 社会保障・税番号制度導入に係る基幹系システムの改修等に要する経費など

◆民生費では

- ・ 臨時福祉給付金を給付するために必要な経費
- ・ 新設される民間保育所の建設事業に対する補助金など

◆衛生費では

- ・ 父親の育児参加の促進を図るため、育児の基礎知識や子育て支援サービスの紹介等が記載された父子手帳を作成する経費など

◆農林水産業費では

- ・ 民間農業経営者が産地競争力の向上のための生産関連施設整備を行うことに対する補助金
- ・ 中小水産加工業者等が実施する従業員確保（外国人実習生含む）のための宿舍整備を宮城県と協調して実施するための経費
- ・ 長渡漁港の基盤整備に要する経費
- ・ 石巻漁港荷捌き所施設整備及び水産倉庫用地（一部）の取得に要する経費など

◆商工費では

- ・ 石巻かほく商工会が飯野川中心部で実施する街路灯整備への補助金など

◆土木費では

- ・ 総合運動公園の整備に要する経費
- ・ 新市街地の沿道業務用地の買戻し及び被災元地の購入に要する経費など

◆消防費では

- ・ （仮称）女川消防署牡鹿出張所建設事業費（備品購入費）など

◆教育費では

- ・ スクールカウンセラー等の派遣に要する経費
- ・ 石巻フットボール場電光掲示板の改修に要する経費など

◆災害復旧費では

- ・ 水産加工団地共同排水処理施設の災害復旧に要する経費
- ・ 金華山休憩所の災害復旧に要する経費



6月9日の本会議で、条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。
各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会での審査

総務企画委員会

マイナンバー制度について

Q 年金情報流出問題による制度への影響について伺う。

A 政府では、個人情報保護に万全を尽くしつつ、利用開始に向けた準備を進めていくことから、現時点では制度の延期がないことを前提として、個人情報保護を第一に考えて制度に対応していきたい。

Q 本市のシステムに関するセキュリティ状況について伺う。

A 外部との通信回線を境に専用やウイルス対策ソフトの最新版への随時更新など、安全確保に努めている。

今後は、年金情報流出問題を教訓とし、人為的なセキュリティ対策も必要と考え、定期的な注意喚起及び個人

情報管理等の研修実施も検討していきたい。

防犯カメラについて

Q 設置場所の選定とカメラの性能について伺う。

A 今回設置する立町中央地区の9カ所は犯罪認知件数が多い場所として、市から審議会に諮問し、設置場所等も含めて審議が行われた。カメラの性能については、夜間でも

20メートル程度の範囲なら顔が判別できる仕様であり、逆光にも対応できる。

環境教育委員会

防災教育推進協力校事業と実践的安全教育総合支援事業について

Q 防災教育推進協力校事業の内容と実践的安全教育総合支援

事業の内容について伺う。

A 防災教育推進協力校事業は、平成26年度は広瀬小学校、平成27年度は鮎川小学校が指定を受け、みやぎ防災教育副読本や石巻市防災教育副読本を活用して、今後の防災教育を展開していく。さらにこの指定を受けた2校は、地域防災組織と連携して、本年11月15日に予定されている石巻市総合防災訓練にモデル校として参加する。

実践的安全教育総合支援事業は、平成24年度から平成26年度まで防災に特化し実施してきた実践的防災教育支援事業が終了し、平成27年度から市内の小学校1校をモデル校として、防災だけでなく防犯や交通安全も加えた取り組みをする新規事業である。その実践の成果は市内の各学校に普及していきたい。

蛇田小学校屋内運動場改築事業について

Q 蛇田小学校屋内運動場改築事業年度の変更について伺う。

A 今回の補正予算は、設計業務において学校側と協議を進める中で、校舎と屋内運動場の間に設置している歩道橋式渡り廊下の形状や構造を再検討したほか、道路管理者や警察署との協議等に時間を要するため、改築工事の発注時期が遅れ、完成は平成28年度末の見込みとなった。今回、

国から2カ年事業の採択内定を受けたことにより、継続費として設定する。

石巻フットボール場の改修事業について

Q 石巻フットボール場の改修内容について伺う。

A 現在使用しているスコアボードを全面改修するもので、これまでの表示ユニットは赤色LEDであったがフルカラーに改修し、併せてカメラを備え付けパブリックビューイングとしての機能を備えるものである。

保健福祉委員会

石巻市介護保険条例の一部を改正する条例について

Q 保険料を軽減する対象者について伺う。

A 生活保護受給者や世帯全員が市民税非課税で高齢福祉年金を受給しているなどの第1段階に属している方、8222人が対象見込みである。

Q 保険料軽減による減収分の補てんについて伺う。

A 軽減額の2分の1は国庫負担、4分の1は県費負担、残りの4分の1は市負担であるが、その負担分は、普通交付税で補てんされる。

とろろあいいセンター建設事業について

Q 用地取得について伺う。

A 取得予定地7件、2950平方メートルのうち2件分746平方メートルが契約済みであり、面積割合で約25%、また、用地費は約1億8400万円、建物等補償費が約3億400万円など、合計で4億8953万円が見込まれる。

臨時福祉給付金給付事業について

Q 事業概要について伺う。

A 市民税が非課税の方3万5000人を対象と見込んでおり、一律6000円を給付する予定である。

また、9月に対象者の把握と案内文書の送付を行い、10月以降に給付を行い、年内に全ての給付を完了予定である。

後発医薬品利用差額通知について

Q 後発医薬品利用差額通知作成業務の概要について伺う。

A 後発医薬品に変更した場合、軽減できる薬代金を被保険者に通知するものであり、自己負担額の削減と医療費適正化が期待できる。

産業建設委員会

水産加工業従業員宿舍整備事業費補助金について

Q 水産加工業従業員宿舍整備事業費補助金の内容について伺う。

A 水産加工業の従業員確保対策として、宮城県が実施する補助事業に対し、市が追加補助するもので、水産加工業者やその団体が、従業員3人以上入居する宿舍を整備する場合、県が2分の1、市が4分の1を補助するものである。補助上限額は3000万円であり、土地取得代金等は補助対象外であるが、新築、修繕、増築、いずれの場合も対象となる。

石巻漁港荷さばき所施設整備事業費について

Q 石巻漁港の水揚げ量の回復状況等について伺う。

A 平成26年の水揚げ量の状況は、数量で約9万7000トン、水揚げ金額で168億3000万円となっており、震災前の3カ年平均に対し、数量で73.3%、金額で85.2%の回復状況で、当面は200億円の復活を目指して漁船誘致活動に取り組む。

観光物産復興対策費について

Q 観光物産復興対策費の仮設駐車場整備業務委託料の内容について伺う。

A 震災前、鮎川地区には、駐車場が有料無料を合わせ、250台あったが、現在は流失し仮設駐車場50台を用意している。今後、夏の観光シーズンに間に合わせるために臨時駐車場が必要であり、キャッチャーポート背後地に仮設駐車場として、約80台を整備する。

低平地整備事業費について

Q 低平地整備事業費の委託料等の内容について伺う。

A 復興庁との協議が終了した、北上地区が5集落、河北地区が1集落、雄勝地区が9集落、牡鹿地区が9集落、本庁地区が6集落、計30地区分のかさ上げに関する道路約22キロメートル、排水路約10キロメートル、整地面積約62万6000平方メートルについて、実施設計業務委託料として計上したものである。

また、補償、補填及び賠償金は、盛り土をする際の作業所や納屋類等の建物を一時的に移転する物件移転費用として、23集落、112棟について計上したものである。

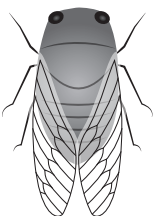
総合運動公園整備事業費について

Q 総合運動公園整備事業費に係る防災機能を備えた運動公園の施設内容について伺う。

A 敷地全体面積39.2ヘクタールを大きく3つのゾーンに分け、災害時の救援、復旧、物資輸送等に使用する。救援・復旧ゾーンは、野球場、フットボール場を含めた北側のブロックで、自衛隊、消防隊及びボランティア等の救援・復旧活動に従事する拠点である。

物資等集積・輸送ゾーンは、北ブロックの駐車場と、石巻商業高等学校裏側の駐車場及び多目的広場をヘリポートとして活用し、緊急輸送、避難生活救護及び復旧活動に必要な物資等を集積し、輸送するものである。避難ゾーンは、北側ブロックの現在仮設住宅が建っている箇所、今後整備予定の陸上競技場と多目的グラウンドに住民の一時避難スペースを設けるものである。

今回の整備には、国道398号北部バイパスを挟んだ南側の第3工区に多目的グラウンド2面、多目的広場、駐車場及びテニスコートの整備等を行うものである。





第2回定例会 第168号議案 工事請負の契約締結について ((仮称)石巻市庁舎第2駐車場整備工事)

第2回定例会に提出された陳情

■『人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情』

(提出者) 在日大韓民国民団宮城県地方本部
団長 田 炳 樽

※継続審査となりました。

■『司法の機能充実を求める意見書採択のお願い』

(提出者) 仙台弁護士会
会長 岩 渕 健 彦

※継続審査となりました。

■『南京事件を扱う学校教育の適正管理に関する陳情』

(提出者) 両 国 潔 俊

※全議員へ参考回付しました。

■『「災害ボランティア割引制度」の実現を求める陳情』

(提出者) 「災害ボランティア割引制度」の実現する会
高 橋 美 佐 恵

※全議員へ参考回付しました。

■『司法試験合格者数の減員等を求める意見書を政府に提出することを求める陳情』

(提出者) 仙台弁護士会
会長 岩 渕 健 彦

※全議員へ参考回付しました。

第2回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏 名	第168号議案 工事請負の契約締結について ((仮称)石巻市庁舎第2駐車場整備工事)
1	黒須 光男	×
2	奥山 浩幸	○
3	阿部 利基	○
4	高橋 憲悦	○
5	楯石 光弘	○
6	安倍 太郎	—
7	阿部 正春	○
8	遠藤 宏昭	○
9	大森 秀一	欠
10	木村 忠良	○
11	櫻田 誠子	○
12	渡辺 拓朗	○
13	首藤 博敏	○
14	山口 莊一郎	○
15	水澤 富士江	○
17	阿部 正敏	○
18	近藤 孝	○
19	阿部 久一	○
20	丹野 清	○
21	森山 行輝	○
22	阿部 欽一郎	○
23	伊藤 啓二	○
24	千葉 眞良	○
25	高橋 栄一	○
26	青山 久栄	○
27	庄司 慈明	○
28	西條 正昭	○
29	後藤 兼位	○
30	千田 直人	○
賛 成		26
反 対		1
欠 席		1

※ ○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席
※安倍太郎議員は議長であるため採決には加わりません。

第2回臨時会に提出された

議案と審議結果

(平成27年5月18日開催)

予 算 (原案可決)

平成27年度石巻市一般会計補正予算(第2号)

そ の 他 (承認・原案可決)

専決処分の報告並びにその承認を求めることについて

(石巻市市税条例等の一部を改正する条例)

(石巻市都市計画税条例の一部を改正する条例)

(石巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

(東日本大震災に伴う石巻市国民健康保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(東日本大震災に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(平成26年度石巻市一般会計補正予算)

(平成26年度石巻市土地取得特別会計補正予算)

(平成26年度石巻市下水道事業特別会計補正予算)

(平成26年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算)

(平成26年度石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算)

(平成26年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算)

(平成26年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算)

業務委託契約の一部変更について

(石巻市新門脇地区被災市街地復興土地区画整理事業)

財産の取得について

(仮称)石巻市宮住吉町一丁目復興住宅)

(湿地用ブルドーザー)

工事請負の契約締結について

(仮称)石巻東消防署建設工事)

(新蛇田南第二地区汚水管渠築造工事)

人 事 (同意)

教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて

↓ 今井多貴子氏

固定資産評価員を選任するにつき同意を求めることについて

↓ 阿部昭文氏

緊急質問



黒須 光男 議員

・市発注工事の指名停止処分について

問 先ほどの議案説明で、復興住宅建設の坪当たり131万円とあまりにも高い単価ではないでしょうか。浅野会頭が理事長を務める市街地北再開発34億円の事業にも復興住宅建設が入っており2/3を市が買取る内容であり、不透明な金の流れが見つかり他の再開発事業に悪影響を及ぼすところとなっております。

市発注の北上地区乾燥貯蔵施設工事12億円では、公正取引委員会が談合と認定し、受注したヤンマーグリーンなどを独占禁止法違反で処罰し、県及び市も指名停止しました。今後、市はこの事件にどう対処するのか。また、市が発注した魚体選別機でも、4社の指名競争入札で、2社が辞退、1社が書類不備で失格。浅野会頭が経営する宮城ヤンマーが1.8億円で受注するなど、誰が見ても茶番劇であり、4社指名は市が便宜を図ったものであり、市長と浅野会頭は、夜々飲み歩いており、談合の巢となっているのではないのでしょうか。

答 談合と判明したヤンマーグリーンには、2.5億円の罰金を科す。4社指名においては、2社から希望があった。2社はインターネットから抽出した。入札は公明であり、市職員の介入はない。



遠藤 宏昭 議員

・市営住宅家賃の過大徴収について

問 今回、平成10年度から平成26年度までの17年という長期間にわたり家賃を過大徴収されてきた当事者にとっては、「いつ返されるだろう。いくら戻ってくるのだろう。」ということが一番の関心事である。返還までのスケジュールを伺う。

市役所におけるさまざま徴収業務について、私をはじめ市民は、市役所つまり行政の言うことをやることを信じて疑わないのです。封書で送られてくる保険料・税金の各種納付書に記載されている金額に対して、疑問を抱く市民はまずいません。それは、大前提となっている「信用」が、行政と市民の間にあるからです。今回のミスは、まさに地域住民の公務に対する信頼に悪い影響を与えたのであります。

住民がいて、この地で生活し、納められた税金により、はじめて石巻市が成り立っているのです。今回の事案は、ちよつとしたケアレスマスでは済まされない。そのような認識では困るのです。そこで、市長の再発防止に向けた考えを伺う。

答 正規の家賃との差額を早急に確定させ、利息相当額を加えた上で、市議会での議決後、返還する。チェック責任者を配置し、確認体制を強化する。市民に対し、謹んでお詫び申し上げる。



▲市宮向陽町住宅

一般質問

議員19人が登壇

市政を問う!

第2回定例会の一般質問は、6月18日、19日、22日、23日の4日間行われました。今回は19人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧 (※議員名の前に付いている番号は質問順序です)	
<p>①黒須 光男</p> <p>1 亀山市政の解体論</p>	<p>⑩楯石 光弘</p> <p>1 超高齢社会への対応策について</p>
<p>②遠藤 宏昭</p> <p>1 市民の不安が募る石巻駅周辺整備事業について</p> <p>2 あってはならない都市計画税の課税ミスについて</p>	<p>⑪近藤 孝</p> <p>1 石巻市総合計画について</p> <p>2 新市まちづくり計画と合併特例債について</p> <p>3 地方創生について</p> <p>4 協働のまちづくりについて</p> <p>5 河南地区の課題について</p>
<p>③千田 直人</p> <p>1 「桃生道の駅」設置委員会が早期建設を市長要望、事業実施に向けた行動計画等について</p>	<p>⑫後藤 兼位</p> <p>1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について</p>
<p>④森山 行輝</p> <p>1 南浜地区の計画について</p> <p>2 石巻市複合文化施設について</p> <p>3 河南中央公園について</p>	<p>⑬櫻田 誠子</p> <p>1 子育て支援策について</p> <p>2 空き家対策について</p>
<p>⑤千葉 眞良</p> <p>1 市立病院の建設状況について</p> <p>2 市立病院へのご線橋について</p> <p>3 在宅避難者について</p> <p>4 湊東地区区画整理事業について</p> <p>5 人事課題について</p>	<p>⑭西條 正昭</p> <p>1 人口大幅減に対する地方交付税の減収対策について</p> <p>2 漁業集落整備について</p> <p>3 災害に強い街づくりについて</p>
<p>⑥奥山 浩幸</p> <p>1 市立病院のご線橋について</p> <p>2 マンパワー不足に対する人材確保について</p> <p>3 稲井地区の諸課題について</p>	<p>⑮阿部 正敏</p> <p>1 観光交流人口増加策について</p>
<p>⑦高橋 栄一</p> <p>1 大川地区復興協議会から提出された要望書に対する対応について伺う</p>	<p>⑯渡辺 拓朗</p> <p>1 被災者の住まいについて</p> <p>2 地域福祉コーディネーターについて</p>
<p>⑧山口 荘一郎</p> <p>1 地方創生時代における教育・次世代育成について</p> <p>2 自立と協働、主体性について</p>	<p>⑰高橋 憲悦</p> <p>1 市政の信頼を取り戻すための方策について</p>
<p>⑨水澤富士江</p> <p>1 女川原発の避難計画と市民の安全について</p> <p>2 避難タワーへのスロープ設置について</p> <p>3 中心部の諸課題について</p>	<p>⑱阿部 久一</p> <p>1 市政運営について</p> <p>2 医療費の適正化の推進について</p> <p>3 防災集団移転促進事業について</p> <p>4 地域自治システムの構築について</p>
	<p>⑲庄司 慈明</p> <p>1 集中復興期間終了後の国の支援策について</p> <p>— 復興は道半ば、国の責務と市の責務 —</p> <p>2 東日本大震災からの復興</p> <p>— 市民要望を中心に —</p>



黒須 光男 議員

・亀山市政の解体論

問 市立病院建設は、駅構内をまたぐ陸橋計画が国からの財政支援の目途がたらず断念となり、交通渋滞は必然です。今なら2階は生鮮マーケット、3・4階は市民会館、5階は情報交流館に変更できる。また、一般財源による6.8億円での駐車場建設は、病院特別会計からの財源でなければおかしい。これは、市立病院の膨れ上がる累積赤字の隠蔽ではないか。

答 また、須江地区農業団地造成事業12億円の地権者説明会に、市長選2日前の市長の出席は不思議だ。この地権者のまとめ役は、市街地ビル事業に入室する社会福祉法人花水木の理事として商工会議所の浅野亨会頭と並んでいる。その背景から見ると会頭の要請で出席したのではないか。このことから政商と政治家によるロッキード事件を思い出した。須江の農業施設は、ピーナッツを栽培しているのではないか。(「ピーナッツは100万円を表わす。')

市街地ビル建設においても会頭のところは完了後に2/3を市が買取り、また、事業計画作成費も1.2億円とほかと比べると6倍です。

避難タワー建設においても受注した企業は、東京リサーチによると以前の赤字から大幅な黒字に転化しており、これも会頭が取締役である。

これらの状況は、市幹部の協力であり亀山市政解体のため、人心を一新すべきだ。

答 病院特別会計から捻出できるよう検討する。地権者説明会は、浅野会頭からの要請はなかった。入札の不正は、していない。



遠藤 宏昭 議員

・市民の不安が募る 「石巻駅周辺整備事業」

問 J R石巻駅北側いわゆる駅前北通りおよび中里方面からの緊急車両・救急車の石巻市立病院への搬入路確保のための「陸橋(こ線橋)」の整備について、市立病院の一部分として建設されるはずが、いつの間にか分離されての議論となっている。「こ線橋」が必要か否かの議論ではなく、一体整備が市立病院を駅前建設する際の必要条件だったはず。

私をはじめ駅前建設に「反対」だった議員にとって、「こ線橋」整備は、決断を左右する大きな事項。ファクターであった。にもかかわらず、いまになって財源の確保が厳しいとは何事か。あきれてものが言えない。

市立病院の建設場所を選定する際にも喧々囂々ともめて、いざ建設が始まれば、建設費用が倍増し、予算が足りないとまたもめて、今度は「こ線橋」が整備できないともめる。まさに一度狂った歯車は元には戻らない。大変な問題になったのである。

答 これほどまでにうまくいかない復興事業は他にありません。病院建設事業について、市長は責任を感じているのか、伺う。

問 とても申し訳ないと思っている。整備計画の修正も視野に入れ、解決に当たる。



▲建設中の石巻市立病院



千田 直人 議員

・「桃生道の駅」設置委員会が早期建設を市長要望、事業実施に向けた行動計画等について

問 平成25年第1回桃生地区パーキングエリア設置に関する会合、第7回桃生地区パーキングエリア検討委員会に於いて「桃生道の駅設置委員会」と改称し規約も制定、第13回設置委員会にて最終協議、平成27年2月19日設置委員会会長並びに委員長から「実施概要書」を添え市長に早期建設を要望した。事業実施の行動計画等をお聞きする。

答 (市長) 平成28年度複線化までに桃生地域活性化施設とし建設を目指す。体験型道の駅等特色を明確化し「桃生農業交流館はねこ」等知恵を出し合い新しい切り口で整備したい。

問 「桃生道の駅実施概要書」は、収支計画、施設規模、運営会社組織(案)も示し、事業主体は固まつた。総合支所に押しつけでなく本庁対応で実現すべきだが伺う。

答 (建設部長) 国、県等出席の東部地域道路懇談会の際に要望を出した。仙台河川国道事務所の回答は「地元と相談しながら良い方向に進めたい」。要望をコンサルティングし、一体型として対応する。

答 (産業部長) 桃生地区の皆様が待ち望んでいることは承知している。詳細計画策定の予算措置、計画具体化については総合支所と連携し積極的に対応する。



森山 行輝 議員

・南浜地区の計画について

問 石巻市南浜地区復興記念公園基本計画が示されましたが、杜づくりの植栽しか伝わってきません。追悼と鎮魂の場は必要ですが、それとともに未来に向けた夢も不可欠な要素。その実現のため、多目的な運動施設の整備について伺う。

答 来年度からの工事着工を目指し、平成32年度の完成を目標としている。「市のエリア」については、運動やレクリエーションとしての多目的広場の整備を考えている。

・石巻市複合文化施設について

問 平成32年度まで整備したいとの考えですが、建設場所についてお示しください。

答 建設費の高騰で再検討しており、建設場所、財源等をセットで今年度中にお示ししたい。

・河南中央公園について

問 老朽化したスコアボード、三塁側の防球ネットの整備が必要。施設使用料も一律となっているので、その改正について伺う。

答 スコアボードの改修、防球ネットの整備については、その必要性を認識しており、関係者と協議の上、整備に努めたい。

使用料の改正については、減免も含め全体の調整を図りながら進めていきたい。



千葉 眞良 議員

・市立病院の建設状況について

問 進捗状況は予定通りか、遅れていないのか。

答 予定通り夏頃開院。現在、敷地内東側半分について基礎工事が終了し、引き続き西側基礎工事と東側1階床コンクリート躯体工事を進めている。

工事の進捗率は、5月末現在で21%となっており、ほぼ当初計画通り。特別な事情がない限り、工期である来年6月末には完成し、夏頃には開院を迎えられるものと考えている。

問 職員の採用状況について。

答 現時点で医師11名が在籍している。看護師や薬剤師等の医療技術者については、7月1日に募集公告を行い、8月下旬及び9月下旬に採用試験を実施することとしている。引き続き開院時に必要な医師、看護師、薬剤師等の人員の確保に努めていく。

・湊地区土地区画整理事業について

問 進捗状況と課題について。

答 昨年7月に道路築造、雨水排水等の工事を発注し、地区内の構造物の撤去も、ほぼ完了し、現在は宅地の整備、道路築造に係る側溝工事を行っている。今後、雨水管の整備を進めながら、完了した路線から地下埋設物設置や道路側溝等、現地地形が見えるように進めて行きたい。



奥山 浩幸 議員

・市立病院のこ線橋について

問 「こ線橋の計画が駅構内で線路を縦断する…」などと言つのは初めから分かっていたはずではないか。当時から大丈夫かと心配する意見や議論があったはず。JR石巻駅前の再建は、あくまで市立病院とこ線橋の一体整備であり、当然開院までに整備されることが前提で可決したはずである。これまでの議会での議論を今どのようにお考えか。

答 緊急車両用こ線橋を使用して、患者を病院に搬送するのも時間との勝負、こ線橋計画を最終決断するのも時間との勝負であり、復興事業はまさに時間との勝負であります。JR東日本との協議について、担当部署がこれまで真剣に一生懸命努力してきたことは理解するのですが、計画通り進んでいない問題山積みこの線橋計画について、このままJR東日本との協議を継続しながら転換する考えは如何なものかと思えます。今こそ最終判断・決断を早急にし、市民に対しての説明責任は当市の最高責任者である亀山市長です。議会との約束であります。これまでの経緯や議論を踏まえ市長の見解を伺う。

問 病院との一体整備で最大の努力をしてきたが、市民に不安を与えお詫びする。しっかり総括し議会に説明した上で、今後の方針を提案させてもらう。



▲石巻市立病院鳥瞰図



高橋 栄一 議員

・大川小学校を震災遺構として残して欲しいという要望書への対応について

問 震災遺構は一つの自治体に一つが望ましいと示されているが、二つ残すという判断もあるのか。

答 保存の手法や整備費用、維持管理費等を勘案しながら、地元住民の皆様や広く市民の意見を伺う中で判断していきたい。

問 震災遺構調整会議では、どのようなことを検討するのか。

答 旧門脇小学校及び旧大川小学校について、震災遺構として保存とした場合の課題整理、整備費用、維持管理経費等の検討、調整を行うものがあり、保存の可否を決定するものではない。

問 市長は保存の可否について、いつ頃までに結論を出すのか。

答 震災遺構調整会議からの報告や地元住民の意向、広く市民の意見を伺いながら、できるだけ早い時期に判断したいと考えている。

なお、大川小学校周辺の整備計画についても、保存手法等の検討を踏まえて、できるだけ早い段階で方向性を示したいと考えている。



山口 荘一郎 議員

問 石巻の購買力低下で、旬のイワシが銚子に流れている。購買力の下地として、市内の家庭での魚食を増やすための「食育」こそ重要と考える。学校給食食材での旬の地場産品活用には、受益者負担に加えた補助を求める。

答 食育は大切だが、給食食材を卸す業者の多さ、地元産品を確実に使用したかというチェックなどから複雑になり、難しい。

問 実際に補助している自治体があり、検討いただきたい。

答 まち・ひと・しごと総合戦略に位置付けることで、奨学金返還の際にその半額が国の交付税措置されるようになる。人口減少下での若者定着、優秀人材確保の観点から、民間企業との奨学金基金設置を求める。

問 制度を確認したうえで検討する。

答 県内で事務局を持つPTA協議会3つのうち石巻だけ、行政助成金が無く運営に苦慮している。助成すべきではないか。

問 全国で多くの自治体が支援しており、石巻市も早急に検討する。

答 半壊という罹災判定だけで給食費や修学旅行費免除となっている現状について、国の指針どおりに「経済的に困難」という判定を加えるべき。

問 11000人中36000人に適用中。来年度の国の制度が定まっていないが、所得確認できるか否かを含めて検討していく。



水澤 富士江 議員

・女川原発の避難計画について

4月14日、福井地裁は関西電力高浜原発で再稼働差し止めの仮処分決定。昨年5月の同大飯原発で安全性が確保されていないと、運転を認めない判決に続くもの。一方4月22日、鹿児島地裁は九州電力川内原発再稼働差し止めを求める住民の仮処分申し立てを却下した。各種世論調査でも、再稼働反対が依然として過半数を占めている。福井地裁の判決は、圧倒的多数の国民世論と合致するものだ。

問 再稼働しなくても、使用済み燃料がプールに貯蔵されている。避難計画は必要。進捗状況は。避難先27自治体からの回答は。

答 薩摩川内市を参考に5キロ圏内の計画を今年秋を目途に策定する。

・避難タワーへのスロープの設置について

問 石巻市のタワーは階段式。障がい者と家族から「階段だけでなく車いすでも登れるスロープの設置を」という強い要望がある。来年4月から「障害者差別解消法」が施行される。仙台市、静岡県、高知県のようにスロープの設置をすべき。

答 「社会的障壁」を取り除くために自治体には「必要で合理的な配慮」が求められている。今後高盛大道路から内陸側浸水域（大街道地区等）の公共施設整備にはスロープの設置を考えたい。

・中心部の諸課題について

問 日和山公園の観桜期駐車場確保と鹿小屋の撤去を。

答 新たな駐車場確保に向け検討する。鹿小屋撤去と公園西側の整備を年次計画を立て行っていく。



楯石 光弘 議員

今後の高齢者が大切にした言葉。きょうようときょうい。今日、用事がある事と今日、行く所がある事。本市は世界的にも前例なき未知の時代へ突入したとの共通認識と明日は我が身との危機意識を持つこと必要。

・超高齢社会への対応策について

問 今後3力年の計画を見ると積極性が感じられない。これでは健康低迷から脱却は困難。

答 各種健康事業に参加ポイントを付け、楽しみながら、それを貯め温泉とか地場産品などと交換できる健康ポイント制を考えては如何か。

問 実績から見込み数を出した。健康ポイント制も今後、検討してみたい。

問 高齢者の生きがいづくりと社会参加促進、健康づくりと介護予防推進から考えると地元にある老人クラブの果たすべき役割が大きいと考える。会員数も減少しているようだが、一つの要因として、年寄りが腰を曲げ杖をついている「老」の字に違和感を覚える。本市が愛称を募集して、例えば、かがやきクラブとかにすれば新規会員も、如何でしょうか。

答 難しいところがあるが、検討してみたい。

問 認知症今後も増加の一途、日頃から積極的予防と初期対応が一番大切と考えるが。

答 物忘れ相談、初期集中支援事業等積極的に行い、地域包括ケアシステム構築を目指す。



近藤 孝 議員

・石巻市総合計画について

問 総合計画（平成19年〜28年）の改定に向けての考え方について。

答 本市における最上位計画であるが、現在震災復興基本計画（平成32年度）に基づく、各種施策を最優先に進めているほか、年内に策定する地方版総合戦略における各種定住施策などと調整を図りながら、平成33年からの10年間を検討していきたい。

問 合併の検証についての考え方について。

答 合併における旧市町の現状やスケールメリット等の検証については、その必要性を認識しているが、復興事業に取り組んでいる状況であり今後において検討していく。

・新市まちづくり計画と合併特例債について

問 合併特例債の延長に伴い、新市まちづくり計画とまちづくり委員会の再開について

答 平成37年度までの計画期間延長を基本として、具体的な事業を盛り込み、年度内に改正を実施する計画である。また、まちづくり委員会は、現在河南、北上の2地区のみの設置となっている。現委員が本年8月末に第5期目の任期満了を迎えることから、今後は、全ての総合支所において、「まちづくり委員会」の設置を進めたいと考えている。



後藤 兼位 議員

・復旧・復興加速の課題と行財政運営について

問 復興事業の地元負担について、対象となる事業と事業費負担金について伺う。

答 復興交付金の効果促進事業費の南浜復興祈念公園整備、低平地整備等を見込み事業費約206億円、その1%の負担金約2億1千万円。社会資本整備総合交付金の復興枠の石巻工業港運河線、(仮称)鎮守大橋を見込み事業費約144億円、事業費の23%で約3億3千万円、総額5億4千万円を見込む。効果促進事業の一括配分について、一事業あたりの上限3億円を撤廃し、配分額の上限が引き上げられる。

(市長) 復興交付金の一括配分を最大限活用する他、交付税の算入が見込まれる有利な地方債も活用し、一部負担縮減に努める。

・市道の交差点改良について

問 仙石線の全線開通、更に市立病院開院後の交通量増加に伴う渋滞の悪化が懸念される。国道398号三角茶屋交差点付近の本格的な改良を行うべきだ。

答 水押踏切へ向かう際の遮断時の対策として、直進レーンと左折レーンを分けることを検討中。早期に実施できるように、石巻署と協議を進める。(市長) 中心市街地活性化の為に中心部に入る道路の整備は必要だと考える。水押踏切、小川町踏切の整備、七窪蛇田線等の事業を着実に進める中で渋滞対策を進めていく。

(主張) 比較的小さな費用で早期に大きな効果を上げる施策として、局部的な対策や線的な対策を早急に行うことが、多くの年数と費用をかける新たな道路ネットワーク建設整備よりも効果的である。



櫻田 誠子 議員

・子育て支援について

問 新生児聴覚検査について、出産後、産婦人科で希望者に行われている新生児聴覚検査の現状と今後の支援について。

答 今年度から受診調査を実施。84%の受診率、小児難聴の早期発見、療育のため、受診助成等検討し、異常発見の際は関係機関連携を図る。

問 市内学校に通学する難聴児の支援は行われているか。軽度、中等度難聴の補聴器購入費助成制度の現状と支援の拡充について。

答 市内4小学校5人が在籍し防音ドア、防音床の改修を行った。実情に応じFM補聴器なども検討したい。助成制度負担割合の3割から1割については、今後検討する。

問 出産費用は出産育児一時金を差引いても手出しがあり、少子化対策として産後検診の助成や出生届の工夫等産み育ての環境の充実を図るべき。

答 出生届は石巻らしく工夫したい。今年度父子手帳発行、子育てハンドブックの改良、ポータルサイトの創設等実施する。今後更に子育て支援の拡充に努力する。

・空き家対策について

問 空き家の現状調査と今後の取組。

答 今後状況を把握し特別措置法のもと、苦情等対応強化する。地域活性化の観点から移住促進、空き家バンク創設等有効活用を推進する。



西條 正昭 議員

・人口大幅減に対する地方交付税の減収対策について

問 27年10月、5年に一度の震災後初となる国勢調査がある。調査時点の人口が28年度以降の配分額の算定基礎となる重要な国勢調査を迎えるが、人口減少の著しい石巻市としての対策を伺う。

答 被災基礎自治体においては、前回の国勢調査人口を普通交付税の算定基礎とする特別措置を講ずるよう国に要望している。又、1000人を超える指導員及び調査員が調査に従事する予定である。

・漁業集落整備について

問 被災された地域はガレキ撤去されただけでブロック塀やコンクリート基礎等の残骸が無惨に残っているが、未だに計画が定まっていない。集中復興期間も今年度で終了となる、今後の事業計画を伺う。

答 地盤嵩上げや排水施設、集落道、避難路、水産関係用地、広場等の整備を予定している。今年度中に地盤嵩上げ等本体工事に係る契約を締結し、平成28年度の完成を目指す。

問 半島部の地域拠点整備事業について伺う。

答 「雄勝」住宅・公共公益施設・商業観光施設などで一体となった新たなまちづくりを関係機関一丸となって取り組んで行く。

「牡鹿」環境省・県・市などが一体となって関係機関との連携を密にし、一丸となって取り組んで行く。

・災害に強い街づくりについて

問 防災道路として震災後計画された避難道路を初め各地域の幹線道路等は計画通り進んでいるのか伺う。

答 市で計画した避難道路は、ほぼ計画通り事業実施の方向で進んでいる。県で震災直後に計画した避難道路は防災集団移転事業や復興事業の計画変更もあり、当初の計画通りに至らなかったと聞いている。



阿部 正敏 議員

・観光交流人口増加策について

問 観光交流政策に関する職員の人員体制について産業部長をトップに次長、正職員6名、復興支援職員1名、臨時職員2名、計9名。

答 民間も含め更なる横断的体制を構築していきま

す。

問 町内会、行政区、PTAなどへの情報提供並びに協力の要請について。

答 多くの団体に資金的余裕がないので事業の後援等行うなどの連携を図り、企業からの協力を受けやすくするよう配慮する。

問 北上運河沿線のすばらしい自然を守る協議会について知っているか。

答 活動について知っています。

問 運河沿線自治会で組織した協議会で、中里地区から下釜地区までで住民自ら石巻市の歴史的遺産修復を目指し、地域の歴史的遺産群として内外にアピールして、地域住民と行政の協働による整備を進め、地域の憩いと観光資源として成長させようとして立ち上がった協議会です。市として県、国への働きかけをお願いしたい。

答 過日、文部科学省に出向いた際、日本文化遺産の登録について打診した。将来の登録を目指したい。

問 地域住民との協働のまちづくりそのものであり、地域の活性化と新しい観光スポットとして育て上げ、山下地域まちづくり協議会も含めて協働のまちづくりを進めてほしい。

答 地域との連携は重要であり、取り組んでいきたい。

問 地域住民との協働のまちづくりそのものであり、地域の活性化と新しい観光スポットとして育て上げ、山下地域まちづくり協議会も含めて協働のまちづくりを進めてほしい。

答 地域との連携は重要であり、取り組んでいきたい。

問 地域住民との協働のまちづくりそのものであり、地域の活性化と新しい観光スポットとして育て上げ、山下地域まちづくり協議会も含めて協働のまちづくりを進めてほしい。



渡辺 拓朗 議員

・被災者の住まいについて

問 被災地はさらに格差の拡大を感じるゆえ、住まいの相談を始め生活再建へのより丁寧な対応が望まれる。所感と対応を伺う。

答 人口は1万3000人減っているが世帯は7%増えていることから高齢者世帯の急増が格差の拡大に繋がっていると思う。不安が広がらないよう地域と共に支える仕組みを築き上げたい。

問 被災者のニーズからも復興住宅として民間アパートを積極的に活用することは、市政への負担軽減と不動産業を圧迫しない事につながるゆえ思い切った活用を検討すべき。

答 指摘のとおりと思う。民間アパートを借りる形で被災者の方に少しでも早く提供する。

問 危険区域以外の被災者にも防災集団移転事業地を一次、二次募集と区切り速やかに提供すべき。

答 その提案も参考にしながら早い時期に実行に移したい。

問 復興住宅への抽選で個別入居とグループ入居の当選確率は、3倍の開きがある。均衡策を求める。

答 被災者と協議しながら決めた抽選方法であり公平性に重点を置いている。



高橋 憲悦 議員

・市政の信頼を取り戻すための方策について

問 ①亀山市長6年間の市政運営について、自らどのように自己評価しているのか。

②山積する行政課題の対応と多発している行政システムトラブルの再発防止策について。

③市民、議会、市の三位一体のバランスと役割分担について。

④地域の均衡ある発展、特に、総合支所機能の拡充について再構築の考えはないのか。

⑤市長の判断基準と説明責任の基本的な考え方、これまでの言動について、その責任の重さについて。

答 復興は着実に進んでいるが、いまだに多くの市民が仮設住宅での不自由な生活を余儀なくされるなど、復興は道半ばである。

行政課題のうち、がれき処理不正請求事件で騙し取られた公金の返還手続きについては、引き続き状況を分析、確認し、顧問弁護士に相談し進める。

総合支所の拡充は、復旧・復興事業の収束状況を注視しながら検討する。

市長としての言動について、その責任は、責任が伴うものと理解している。



阿部 久一 議員

・市政運営について

問 復興交付金一部負担金、本市への影響額は。

答 約5億4千万を想定、最大の被災地である本市に最大限配慮頂いたものと思う。

問 ささえあいセンターと防災センターの推進状況はどのようになっているか。

答 ささえあいセンター地権者9人中3人、物件は7件のうち2件契約済み。移転補償のみの方は3件中3件契約済み。

防災センター地権者6人中5人契約済み。移転補償のみの方は、10件中6件契約済み。28年度末の完成を目指している。

問 こ線橋37億円多額の財源投入は、費用対効果がない。見直しの決意を伺う。

答 早い段階で総括し、議会に説明した上で決断すべき時期と考えている。

・防災集団移転促進事業について

問 二子地区や雄勝各地区の宅地進捗状況は。

答 28年度末に宅地供給を行う。29年度末にはすべての宅地供給を行う予定、建物は30年頃になる予定。雄勝地区27年度は、水浜地区を含め7地区9団地。28年度は船越唐桑地区の2地区4団地が完成予定である。

・その他の質問事項

◆レセプトデータを活用して、後発医薬品ジェネリックの使用促進により国保の健全運営と市民の健康管理を図るべきである。

◆被災地従前地の買い取り価格格差について。◆自治システム設立の流れをなぜ変えたのか。



庄司 慈明 議員

・東日本大震災からの復興
― 市民要望を中心に ―

問 建設総額100億円弱の災害公営住宅の発注を石巻市で行うこととなったが、法的拘束力を持たせながらの契約等の、例えば地元LP事業者の育成のプログラムの用意はあるのか。

答 入札制度の限界もあるが、極力落札者から元々の地元業者に発注するように要請する。また法的拘束力については研究する。

問 専門家の指導を受けながらの街づくりの話し合いをしているが、その専門家派遣事業の予算確保策をどの様に考えるのか。

答 今後も継続支援するよう検討している。

問 新みなと荘を市・県・国の復興事業のスケジュールや内容をお知らせする『復興情報発信ベース』にして、東部地区の方々との協働を推進することを提言するが、見解は。

答 実施に向けて、関係機関と協議する。

問 50戸未満の借上災害公営住宅にも談話室的な空間が欲しいとの声に応えられないか。

答 できる限り希望をかなえたいが、建築基準法もあって、なかなか難しい。

・被災自治体の負担を求める国の姿勢を問う
― 復興は道半ば ―

問 これまでの5年間は壊滅的打撃を受けた事実と、被災自治体の財政力の脆弱さに着目して地元負担を求めなかったが、国は方向転換をした。市長はどの様に考えているか。

答 合併特例債等を活用し一部負担の縮減に努め復興事業を確実に進めていくが、理不尽な政策と考えている。

緊急質問



黒須 光男 議員

・藤久建設の詐欺事件における破産申立について

問 石巻市のがれき処理業務委託費で不正請求し、詐欺罪で起訴されている藤久建設が、6月23日までに事業の停止と自己破産申請の準備に入り、負債総額は8600万円と帝国データバンクが明らかにしました。

答 これにより、市がだまし取られた5700万円の回収は、不可能となりました。問題が起きないようにと、これまで早期に差押えを図るべきと再三にわたって議会側から意見が出されていたにもかかわらず、市長は何ら対策を講じませんでした。どうしてなのでしょう。藤久建設に何か遠慮をしているのでしょうか。伊藤秀樹はこの問題が発覚してから、チョロまかした金を所持し、弁護団を構成し、又近頃は自宅を売り払うなど、個人の所持する金品は多額であると想定されます。遅きに失した感ですが、市長は、癒着であるとの誤解を払しょくするためにも、差押えを決定されるよう望みます。又、市は債権者として伊藤秀樹の破産申立の手続をして、個人の資産を明らかにさせて、管財人に回収を図ってもらうことも可能ではないか。

問 破産手続の開始決定後は、債権者会議もあるもので、市の損害賠償債務もその手続の中で処理されるものと考えている。仮差押えをする場合は市が保証金を積まなければならない。

答 倒産した会社からの回収は無理であり、保証金を積まなければならないとの考え方は消極的すぎます。このままでは、市長に賠償請求しますよ。弁護士と相談する。

「新規採用職員研修」

6月23日、石巻市新規採用職員が研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。



総合防災対策特別 特別委員会

【実施日】
平成27年
5月20日～22日

【視察地及び視察項目】

- 愛知県大府市『治水対策について』
- 三重県鈴鹿市『すずか減災プロジェクトについて』

大府市では「治水対策」、鈴鹿市では「すずか減災プロジェクト」について、それぞれ視察を行った。これらの取り組みは、市民の防災意識向上も兼ねており、石巻市における防災・減災の推進におおいに参考となるものであった。

大府市では、平成12年に発生した東海豪雨により、甚大な浸水被害に見舞われたことから、同規模の降雨が発生しても被害を最小限に止めるための総合排水計画を策定し、校庭・公園の貯留施設の設置をはじめ、調整池整備や透水性舗装整備に取り組み、治水安全度の早期向上を図っている。また、ハザードマップ等の公表により、住民の防災に対する意識を高め、超過洪水時においても速やかで安全な避難が行われ、人的被害を最小限に止めることに取り組んでいる。

鈴鹿市では、㈱ウェザーニューズと共に、個人や地域コミュニティの減災意識を高め、気象災害による被害を少しでも軽減するため、鈴鹿市民の自助・共助活動を支援する目的で「すずか減災プロジェクト」が開始された。

このプロジェクトは、鈴鹿市内での気象災害や地震によって発生した冠水や浸水、ライフラインの停止などの被害状況を市民がインターネットを通じて随時報告し、市内マップにリアルタイムで反映することで、市民の一人ひとりの被害を軽減する活動や防災活動に役立てていく「市民参加型のプロジェクト」である。

東日本大震災復興再生 特別委員会

【実施日】
平成27年
5月20日～22日

【視察地及び視察項目】

- 人口減少対策について
- 長野県佐久市
 - 長野県伊那市

本市は、あの忌まわしい大震災により尊い命が奪われ、またふるさと石巻を離れざるを得なくなった結果、人口が減少した。今回は、地方において全国的な課題である人口減少対策をテーマに佐久市では「佐久市・長野県・JR東日本の連携による移住促進事業」について、伊那市では「伊那市移住・定住促進プログラムによる若者が集うまちづくり」について、それぞれ視察を行った。

佐久市は、市内を長野新幹線や高速道路が走り都内からのアクセスが良く、医療の充実度でも全国的に有名なまちである。その佐久市がJRとタッグを組み新幹線を利用した移住体験キャンペーンを展開し、移住者を増やしている。

伊那市の山間部に位置し、過疎化が進む新山地域においては、地域では当たり前前の昔から続いている人とのつながりを大事にした教育文化が、雑誌の企画で行われた日本の住みたい田舎ベストランキング「子育て世代にぴったりの田舎部門」で第1位に選ばれた。園児の減少で閉園となった保育園が、地元の教育文化に魅了された県内外の子育て世代を移住させて復活を遂げた。

出生率が低い現代において、人口を増やしていくためには、よそから移住してもらうことが必要である。そのためには、石巻がほかのどのまちよりも魅力ある住みやすい環境にすること、さらに私たちが気づいていない石巻の魅力を再認識する必要があると感じた。



◀ 大府市立大東小学校で貯留整備された校庭を視察

まちづくり促進 特別委員会

【実施日】
平成27年
5月20日～22日

【視察地及び視察項目】

- 富山県富山市『富山市のコンパクトシティ政策について』
- 石川県金沢市『歩けるまちづくりの推進について』

富山市は「コンパクトシティ政策を中心とした包括的アプローチによる富山市地域再生計画」を策定し、福祉や医療、教育や文化、経済や雇用など、都市の総合力を高め、環境にも高齢者にも優しい都市を目指している。公共交通の活性化策では、富山ライトレールを整備しJR時代に比べ利用者が倍以上増加している。運行間隔の短縮や終電時間を遅らせることにより、中心市街地の賑わいや民間投資の増加にも寄与している。今年は、北陸新幹線も開通し、交流人口の拡大、定住促進に向けて富山市の魅力積極的に発信しようとしている。本市においても歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりの実現には、様々な事業の連携や若者が集まる施策展開も必要だと感じた視察であった。

金沢市は、四百年以上、戦災や天災など大きな災害を受けることなく、自然と人々が共生しながら、歴史、文化、伝統を継承しており、伝統的街路構造が多く、城下町としてまちの魅力形成している。まちなかの徒歩圏内には都市機能が集積し、道は狭く、曲がりくねっており、幅員4m未満の細街路が市道の約20%もあるため、徒歩を前提にまちが形成されている。新金沢交通戦略により、歩行者と公共交通を優先するまちづくりを明確化し、歩くことのメリット、歩けるまちづくりの必要性を示し「金沢市における歩けるまちづくりの推進に関する条例」に基づき、「歩けるまちづくり協定」を地域団体と締結している。歩いて暮らせるまちづくりの先進例として学ぶべきものが多いと感じた視察であった。



富山市でコンパクトシティ政策の説明を受ける委員 ▶



▲ 佐久市で移住促進事業の説明を受ける委員

平成26年度 政務活動費執行状況

会派名	人数	交付額	研究 研修費	調査費	資料費	広報 広聴費	人件費	その他 経費	支出計	残額
ニュー石巻	12	3,210,000		3,189,301				40,218	3,229,519	△ 19,519
石巻復興の会	5	1,500,000		1,583,576				28,492	1,612,068	△ 112,068
創生会	5	1,500,000		1,231,128	108,000			18,903	1,358,031	141,969
公明会	3	900,000		250,828	94,137				344,965	555,035
日本共産党 石巻市議団	2	810,000	87,515	223,119	46,440				357,074	452,926
無会派 黒須 光男議員	1	360,000					360,000		360,000	0
無会派 安倍 太郎議員	1	270,000		314,163					314,163	△ 44,163
無会派 阿部 利基議員	1	60,000					60,000		60,000	0
無会派 高橋 憲悦議員	1	210,000	152,797					57,249	210,046	△ 46
無会派 楯石 光弘議員	1	210,000	174,990						174,990	35,010
新世紀クラブ	4	240,000			21,600				21,600	218,400

- (注1) 無会派議員のうち高橋憲悦議員及び楯石光弘議員は、平成27年1月からニュー石巻に所属しました。
 (注2) 無会派議員のうち阿部利基議員は、平成26年6月からニュー石巻に所属しました。
 (注3) 新世紀クラブは、平成26年5月で解散しました。
 (注4) 残額は市に対して返還済みです。また、不足は会派から持ち出しとなっています。

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究における必要な経費の一部として、「石巻市議会政務活動費交付条例」に基づき交付されています。

交付の対象や方法などは次のとおりとなっています。

- 交付の対象** 会派（1人会派を含む）
交付する額 1人につき、年額36万円（月額30,000円）
交付の方法 年度当初に一括交付
収支報告書 翌年度の4月30日までに提出。
 領収書（金額に関わらず全ての領収書）等の写しを添付。





議場コンサートの様子

市議会では、より多くの市民の皆様が議場に来場され、議会を身近に感じ、議会活動についての理解を深めていただくため、6月8日、第2回定例会の開会前に議場コンサートを開催しました。

- 出演者** 瑞穂 あけみ (民謡歌手)
- 曲 目**
- 1 十三浜甚句
 - 2 米節
 - 3 追分慕情
 - 4 石巻音頭

表 彰

6月17日、東京都日比谷公会堂において、全国市議会議長会第91回定期総会が開催され、次の方々が表彰されました。

◎一般表彰（市議会議員在職15年以上）

- 安倍 太郎 議員
 庄司 慈明 議員
 後藤 兼位 議員

◎一般表彰（市議会議員在職10年以上）

- 近藤 孝 議員



安倍太郎議長も表彰されました



表彰状を受け取る後藤議員



表彰状を受け取る近藤議員

議会の動き

5月

- 11日 ニュー石巻行政視察（～14日まで）
- 12日 東京都あきる野市議会行政視察来石
中央要望（～13日まで）
- 13日 佐賀県唐津市議会行政視察来石
- 14日 福島県議会行政視察来石
- 15日 議会運営委員会、広報広聴委員会、総務企画委員会
- 18日 第2回臨時会、全員協議会、総合防災対策特別委員会
- 19日 高知県安芸市議会行政視察来石
- 20日 鹿児島県指宿市議会行政視察来石
総合防災対策特別委員会行政視察（～22日まで）
東日本大震災復興再生特別委員会行政視察（～22日まで）
まちづくり促進特別委員会行政視察（～22日まで）
長島復興副大臣来石
- 21日 愛媛県宇和島市議会行政視察来石
徳島県阿南市議会行政視察来石
- 26日 宮城県南三陸町議会行政視察来石
- 27日 まちづくり促進特別委員会
岩手県議会行政視察来石
- 29日 兵庫県南あわじ市議会行政視察来石



- 16日 中央要望（石巻市・東松島市・気仙沼市）
- 17日 全国市議会議長会定期総会
- 18日 本会議（一般質問）
- 19日 本会議（一般質問）
- 22日 本会議（一般質問）、各特別委員会
- 23日 本会議（一般質問）
- 24日 本会議（委員長報告、追加議案審議、閉会）
- 29日 石巻復興の会行政視察（～7月2日まで）
- 30日 福岡県北九州市議会行政視察来石
ニュー石巻行政視察（～7月3日まで）

7月

- 1日 福岡県行橋市議会行政視察来石
- 3日 大阪府泉南市議会行政視察来石
- 6日 議会運営委員会行政視察（～9日まで）
民主党復興推進本部市内視察
- 7日 全国市議会議長会特定第三種漁港協議会定期総会
- 8日 千葉県船橋市議会行政視察来石
- 10日 兵庫県議会行政視察来石
- 13日 議会運営委員会、広報広聴委員会
京都府木津川市議会行政視察来石
- 14日 第3回臨時会
- 21日 三重県鈴鹿市議会行政視察来石
宮城県議会と沿岸15市町議会議長との意見交換会
- 22日 大阪府寝屋川市議会行政視察来石
- 23日 東京都三鷹市議会行政視察来石
- 24日 兵庫県姫路市議会行政視察来石
- 27日 まちづくり促進特別委員会
- 28日 島根県松江市議会行政視察来石
東日本大震災復興再生特別委員会
- 29日 東京都狛江市議会行政視察来石
- 30日 全員協議会

6月

- 4日 議会運営委員会、全員協議会
- 8日 第2回定例会開会（～24日まで）
議場コンサート、全員協議会
- 9日 本会議（条例案、予算案等審議）
- 11日 総務企画委員会、環境教育委員会
- 12日 保健福祉委員会、産業建設委員会
- 15日 議会運営委員会

市議会ホームページ

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0100/index.html>
へアクセスしてください。

石巻市議会

石巻市のホームページ内に開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。

議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取上げた内容等についても詳しくご覧いただくことができます。

定例会や各委員会の会議録も検索できます。



ぜひご覧ください!

市政を知るために 議会を傍聴してみませんか?

本市議会の様子は、議会開会中、どなたでも傍聴することができます。ぜひ、お気軽にお越しください。

車いすや団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の開議時刻は、原則初日は午後1時、2日目以降は午前10時となっておりますが、議会運営上時刻が変更になる場合がございます。

ご不明な点等がございましたら、議会事務局へお問合せください。

本会議・常任委員会LIVE中継(生中継)

視聴の仕方は、市議会ホームページの
「石巻市議会LIVE中継(生中継)」をご覧ください。



※第3回定例会の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
9月3日(木)	午後1時～	本会議(開会、提案理由説明)
9月4日(金)	午前10時～	本会議(決算、条例案、予算案等審議)
9月8日(火)	午前10時～	総務企画委員会
9月9日(水)	午前10時～	環境教育委員会
9月10日(木)	午前10時～	保健福祉委員会
9月11日(金)	午前10時～	産業建設委員会
9月16日(水)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月17日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月18日(金)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月24日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月25日(金)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

編集後記

毎日うだるような暑さの中、気持ちよさそうにプールで元気に水泳を楽しむ子どもたち。部活動に頑張る子どもたち。また、様々な自分の目標に向け頑張る子どもたち。子どもの元気な笑い声や、一生懸命頑張る姿は、私たち大人を大いに勇気づけてくれます。石巻は復興再生期を迎えましたが、復興住宅の建設、防災集団移転、他復興への歩みもまだ時間がかかります。未来を担う大事な子どもたちの思いや夢もこれからの石巻のまちづくりに反映させ、子どもたちが生まれ育った石巻を誇る事が出来るよう、また、市民の皆様が石巻に住んで良かったと、言って頂けるよう、私たち議員も頑張らなければなりません。議員の活動状況を見て頂くため、議会だよりの内容等を工夫し、議会のライブ中継も6月定例会より始まり、市民の皆様から大変好評を頂いています。9月定例会も間もなく始まります。ぜひ、ご覧頂きたいと思います。

広報広聴委員 櫻田 誠子

表紙から



湊こども園一番のお兄さんお姉さん「ぞう組」の皆さんです。

湊こども園は、この春、幼保連携型認定こども園としてスタートし、現在は、56人の園児が在籍しています。

5月には「子どもの日のお祝い会」、7月には「七夕会」や「夏祭り」などの行事が行われました。子どもたちは、プール遊びをするなど暑さに負けず、毎日元気に過ごしています。

DATA 市総人口：149,174人【男：72,502人 / 女：76,672人 / 世帯数：60,272世帯(平成27年6月30日現在)】